



講師の指導を受けながらロープを使い木に登る子どもたち

植林体験では治良ヶ森で栗と山桜の苗木を植えました。森の観察では、散策コースを歩きながら講師から、位山周辺だけに生育しているキセルアザミを観察したり、ササの葉に穴が横一列にあいている弾痕笹の話などを聞きながら歩きました。

この日体験学習に組まれたのは、ツリークライミングと植林体験、それに森の観察の3つで、参加者は3グループに分かれてそれぞれを順に体験して回りました。

ツリークライミングでは、講師からヘルメットやサドルなど器具の装着の指導を受け、ロープとフットループを手足で操作して登ったり降りたりする方法を学び、スリルと爽快感を体験しました。

植林体験では治良ヶ森で栗と山桜の苗木を植えました。森の観察では、散策コースを歩きながら講師から、位山周辺だけに生育しているキセルアザミを観察したり、ササの葉に穴が横一列にあいている弾痕笹の話などを聞きながら歩きました。

を育てようと、独立行政法人国立青少年教育振興機構の「体験の風をおこそう」事業を利用した「神通川源流文化と自然体験プロジェクト」の一環として実施されたものです。この事業は一之宮まち協が母体の「神通川源流文化と自然体験の風実行委員会」が主催するもの。

「体験の風をおこそう」事業で

一之宮まち協だより

第18号

平成27年11月1日

一之宮町
まちづくり協議会
広報委員会

高山市一之宮町3087
電話 53-2424

宮景

わが町の文化遺産巡り

大原騒動を描いたもので、今回は特別に野添さん自身による詩吟の朗唱もあって参加者は大喜び。居合わせた観光客からも拍手が湧き、大いに盛り上がった素晴らしい文化遺産巡りとなりました。

一之宮の文化遺産巡り、来年はどこを巡るのか、今から楽しみです。

この季節に恒例となった「わが町の文化遺産巡り」が、今年は38人が参加して10月11日に、高山市街地にある「高山陣屋」まで足を運び行われました。

過去4回のこの行事は一之宮町内をいくつかのコースに分けて実施されてきましたが、今年は一之宮にも縁の深い「大原騒動」についてさらに詳しく学ぼうと“遠征”となったものです。

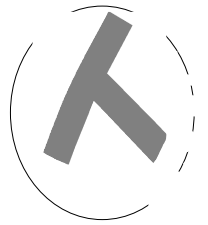
まずは水無神社で、講師の山腰曠さんから大原騒動の一宮大集会などの話を聞いた後、定期バスで高山市街へ。バスから降りた一行は、いつものように「のぼり旗」を立てて陣屋まで歩いて向かい、学習の前に陣屋の朝市で買い物を楽しみました。

江戸幕府の直轄領の代官所である陣屋の中では、大原騒動を中心にガイドの説明を聞きながら見学して回りました。

そしていよいよクライマックスともいべき紙芝居を代官の居間で鑑賞。野添幸夫さん作・演の恒例の紙芝居、今年



野添さん手づくりの大原騒動の紙芝居を鑑賞する参加者



50年を超える俳句人生 文化祭では詩吟を朗唱

役田 八重子さん

(本通上)

今月の「まちよな人」は、今月3日開催される一之宮町文化祭で詩吟に出演される本通上の役田八重子さん(75)です。

役田さんは俳句も宮村の時代から続けられている文化人。自宅に何うと玄関には、秋の花が活けてありました。また、学童保育が発足した頃から関わられ、現在も臨時として行かれることもあります。

「長年、いろんなことを続けられるのはなぜですか?」と尋ねると、「習いごとは、母が進めてくれたのがきっかけで、よい師匠や仲間にも恵まれたからです。学童保育では子どもが『ばあちゃん先生』と呼んでくれて、やさしく、かわいい」と答えられました。

人によつてみたらと言われてもなかなかできないのに、30年以上にわたり続けることができるのは、

その才能がある「まちよな人」だからこそ。一方で、こうして長年続けられたのは、「元気でいてくれる99歳になる母のお陰」と感謝して見えました。今年の文化祭では、今井きみ彥さんと、石川啄木の「母」を演じられるそうです。

俳句も良い師匠に恵まれ、最初の「位山句会」から今の「濃美」という全国誌に掲載されるなど、一之宮のレベルは高いそうです。これも、指導者の三木隆子さんや三木ふみさんのお陰で50数年続いていると謙そんしてみえました。

その俳句、季節にに応じて一之宮支所前のバス停に掲げているというところで案内してもらいました。それも、自主的にボランティアで始められたそうです。みなさん、バス停の俳句を見られたことはありますか? 私はよく通るのですが、初めて知りました。

当時の宮村役場を定年退職した後、何か奉仕をしなくてはと思い、これも自主的に公民館の清掃や花を飾ったりされました。他人のためにと、続けてみえる役田さんの「まちよな」なかなかできないことで、私も見習いたいと思いました。

一之宮町文化祭に、みなさんお出でかけになり、ぜひ鑑賞ください。



句集の前に話をされる役田さん



「朧(おぼろ)月夜」私の心の歌

町川 克己 さん(山天下)

私は53歳になるとき、初めて田んぼを始めた(今、69歳)。実は、私は子どもの頃から自給自足の百姓の生活が羨ましいなあと思っていた。

中学校を卒業するとき、進路の選択肢は三つ。第一は自動車整備士、第二が百姓、第三が教師。とにかく高校へ入ってから考えよう。ところが高校を卒業するとき、大学入試に失敗。家は貧しかったので、一年間棒に振るわけにはいかず、何となく教育学部に入ってしまった。結果、教師になって直ぐに30年経った。そしてようやくやりたかった農業を始めることになった……、実はそうでもない。

実は教師生活に行き詰っていた。そんなとき、百姓の生き方にヒントを得た。それが53歳だったわけ。朝起きたら田んぼを見、野菜の世話をしてから職場へ。そうしたら毎日が慌ただしくなったはずなのに何故か充実した日々。何か誇らしい感じというか……?

あれから17年。すっかり身に染みついてしまった。ただ、困ったことがある。本物の百姓になりたくなったのである。定年退職を機に一時は4反ほど米を作ってみた。(私は畑をやりたかったので現在は2反に落ち着いている。)

畑が6反ほど。「直売所供給型」の農業と自称している。勿論、我が家では米と野菜は殆ど自給できている。

今一番の課題は、庭の草取りの時間が欲しいこと。

家が荒れ放題。一方で、もっと大きく、もっと面白い農業を目指したい気持ちが強い。そのためには畑地の造成をしたいし、仲間が欲しい。ただ、農業で家族を養うことは夢に終わりそうで、これでは到底百姓と言えないのが悲しい。

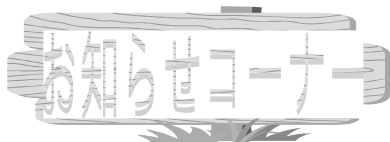
家族のこと、世間のこともいい加減にして自分の夢ばかり追っている年ではないが、百姓仕事を考えているときが一番自分らしいと思うのである。

田んぼで野球をしながらみんなで畦の大豆を炒焼きの火の中に入れて焼いて食べた、あの秋の夕方の風景や臭いがたまらなく懐かしい。

支えてくれる家族と、私のもの好きのために広い土地を快く貸して下さっている皆様に感謝している。



ニンク畑をバックに自分の農業デザインについて語る町川さん



地域別市民意見交換会のご案内

高山市議会では今年度も地域別市民意見交換会を開催し、

議会の活動などを報告するとともに、将来のまちづくりの姿などについて地域の皆さんと意見交換を行います。

お気軽にご参加いただきますようご案内いたします。

(申込み不要)

【日時】11月20日(金) 午後7時～

班長さんを通じて7時30分～とお知らせしてありますが、午後7時開始ですのよろしくお願ひします。

【場所】一之宮公民館 和室

【内容】 議会からの報告 参加者との意見交換



句集を前に話を

を講師に、認知症講演会を開催します。

「認知症」……最近よく耳にする言葉ですね。「年やでしゃあないんや」と思われがちですが、まぎれもない病気です。この機会に専門家の説明や対処方法などを学びませんか。

【日時】11月13日(金) 午後7時～8時30分

【場所】一之宮公民館 和室



「不用雑誌リサイクル」のご案内

高山市図書館 一之宮分館では、高山市図書館で不用となり除籍した雑誌をリサイクルとして無料で提供します。

【日時】11月1日(日)～11月3日(火・祝)

11月1日(日)午前10時～午後5時

11月2日(月)午前9時～午後9時

11月3日(火・祝)午前9時～午後5時

参加される方は手提げ袋などの入れ物を持参してください。リサイクルとして提供する資料が無くなり次第、予定の日程より早く終了する場合があります。

後期教養講座

「みんなで歌おう昭和歌謡教室」受講者募集

先月募集しました歌謡教室ですが、日程が変更になったため、改めて受講者の募集をします。昨年に続いて、ギターの中島ヨシハル氏を講師に、下記の通り開催します。歌の好きな方なら上手下手に関係なく大歓迎！



【日時】11月30日、12月7日、21日、1月18日 各月曜日 午前10時～11時30分

【会場】一之宮公民館

受講料は無料、歌集は貸出します。

11月26日より始まるチェアエクササイズも人数に余裕がありますので、是非お申し込みください。

「みや交流サロン」11月から冬期間休止します

7月から飛騨位山交流館で開設しました「みや交流サロン」は11月～4月(予定)の期間は休止しますのでよろしくお願ひ致します。



一之宮地区外の行事案内

認知症講演会のご案内

まち協福祉委員会では、デイサービスセンター八光苑の職員



ニクニク畑をバックに自分の農木枯らしの寒さに、つい家で



公民館から

展示コーナー

生涯学習講師作品展 (12月末まで)

11月の公民館定休日
4日(水) 9日(月) 24日(火)

11月の位山交流館定休日
4日(水) 9日(月) 16日(月) 24日(火) 30日(月)

今月の特集

りんこの絵本

今が旬の美味しい「りんご」が出てくるお話を紹介します。

内容：お話玉手箱さんによる絵本・紙芝居の読み聞かせ

簡単な工作
入場無料・申込不要です。

場所：一之宮公民館 和室

日時：12月5日(土)午後1時～2時



つばやき

11日行われた林業機械展に行ってきました。木をつかみ適当な大きさに切って集めていく機械は、まるでSFのロボットの様でした。あんな機械を使って林業をするのもいいなと思いました。でも、つい、いくらするのかなと聞いてしまいいそつになりました。(若いと思っている下種なおじさん)

一之宮町の人口情勢

編集後記
多くの行事があった10月でした。「まち協」主催の行事も昨年より増え、役員・事務の方々は大変だったと思います。広報としては掲載できる対象があつて嬉しいですが、取材すると多くの発見(この年でも)があります。皆さん、各種の催しに参加してみませんか？(山腰委員長)

世帯数	8 1 1 戸		
年齢	男性	女性	合計
0～14歳	187	155	342
15～64歳	702	727	1,429
65歳以上	337	461	798
合計	1,226	1,343	2,569

10月1日現在・単位：人 3

30	26	20	14	13	5	3	2	1	日
月	木	火	土	金	木	火	月	日	曜
昭	チ	市	町	認	結	行	一	行	
和	ェ	民	内	知	婚	政	之	事	
歌	ア	意	会	症	相	相	宮	内	
謡	エ	見	長	講	談	談	町	容	
講	ク	交	・	演	(・	文		
座	サ	換	班	会	交	交	化		
(タ	会	長	(流	流	祭		
公	デ	合	会	公	館	館			
民									

サタデイサークルが再開

卓球を除き、8・9月に休んでいたサタデイサークルが10月から再開しました。

10日の土曜日には、3日の日に先行して実施した「ふるさと探検」を除き、各サークルとも、講師の指導のもと子どもたちは楽しいそらに活動していました。

このうち「ふるさとのお菓子づくり教室」では15名の子どもたちがきな粉と小豆のおはぎづくりに取り組んでいました。

この制度は学校週5日制の導入に伴い、土曜日の子どもたちの受け皿としてつくられました。テレビゲームにつかりがちな子どもたちによい活動であり、長く続けることを願っています。(山腰)



輪になってお茶の入れ方を習う子ども達

スポーツ健康フェス開催

まち協健康福祉部が主催する「スポーツ健康フェスティバル」が10月24日に行われました。

秋晴れの中、ウォーキングとグラウンドゴルフの2種目が行われ、



子どもも交えて行われたグラウンドゴルフ

ウォーキングは支所を起点に、臥龍公園から水無神社を経て位山道往還寺、ゆうあい広場などを回るコース、グラウンドゴルフは宮小グラウンドで実施されました。

グラウンドゴルフでは小学生から高齢者までの24人が参加し、3〜4人のグループに分かれて競技しました。参加者は、年の差にも関わらずわきあいあいと楽しく競技していました。

この日はJRなどが主催する「さわやかウォーキング」もあり、他県からの参加者もあって、支所では豚汁がふるまわれました。(中畑)

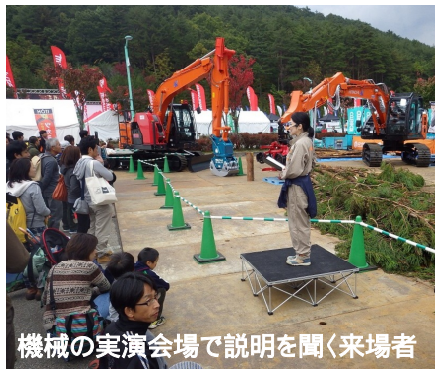
林業機械展に多くの入

第39回全国育樹祭記念行事の「森林・林業・環境機械展示実演会」が11月の11日・12日の両日、一之宮町のモンデウススキー場周辺で開催されました。

世界から最新式の林業機械約500台が集まり、展示実演された会場では、全国から視察で訪れた人や家族連れの市民らでにぎわい

ました。

関連行事として、ツリークライミングや巨樹・巨木を訪ねる「源流の森ツアー」も行われました。大きな混乱はなかったものの、この両日一之宮町には駐車場はほぼ満車となるなど、かつてないほどの人が集まり賑わいました。(中島)



機械の実演会場で説明を聞く来場者

女性委で藍染 寄植え体験

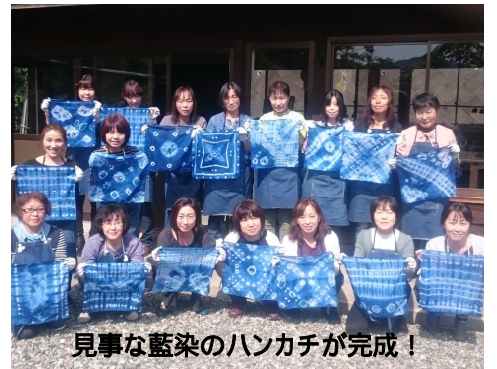
10月4日に女性委員の地区別自主活動が2地区で行われました。

本通地区では、高山市越後町にあるゆはら染工に向いて「藍染体験」を行いました。

出来上がりの想像を膨らませながら、木綿に様々な太さの木の棒やビー玉、洗濯ばさみ等使って絞り模様を作りました。

藍色は「草木染めの王様」と言われ、飛騨地方では鬨鶏楽や獅子舞の衣裳に使われています。

参加者17名は今も受け継がれている伝統工芸に触れることができ、綺麗な藍色に染めあがったハンカチの仕上がりに満足していました。



見事な藍染のハンカチが完成!

山下地区では秋の寄せ植え

山下地区では山下中公民館前で「秋の寄せ植え」を行いました。ガーデンシクラメン、百日草、リンドウ等の色とりどりの花が綺麗にまとまり、見た目も鮮やかで温かさが伝わりました。

秋晴れの中、参加者16名は会話も弾み、それぞれ思いを込めた寄せ植えに満足していました。これから冬に向けてもまだまだ花を楽しめそうです。(牛丸)



会話も弾む中、寄せ植えを楽しむ参加者

保育園でパピータイム

地域の人が保育園に集まって楽しいひと時を過ごそうと、「ハッピータイムIN宮保育園」と名付けた行事がまち協なども共催して、親子など180人ほどが参加して10月17日に宮保育園で開催されました。

「積木で遊ぼう」、「マジックショー」、「おにぎりを作って食べよう」の3部門に分けて行われ、積木を使った遊びでは、子どもたちが大人と一緒に様々な形の積み木を自由に積み重ねて楽しんでいました。

マジックショーでは8月の夏祭りにも出演したNAOさんが机が浮かぶ「魔術」などを披露すると歓声が上がリ、子どもたちは不思議そうに見つめていました。

おにぎり作りでは、ラップの上にご飯を載せてウメやコンブなどの具を混ぜ、大きいのはソフトポール大など、思い思いの大きさのおにぎりを握って食べました。



ラップを使っておにぎりを握る子ども達